

施策名：食育を通じた人づくり・地域づくりの推進

事業名	担当課・室名	ページ
大分の食育推進事業	食品安全・衛生課	2 / 3
青・壮年期食育推進事業	食品安全・衛生課	3 / 3

事業名	大分の食育推進事業		事業期間	平成 18 年度～平成 年度	政策区分	安全・安心な暮らしの確立
					施策区分	食育を通じた人づくり・地域づくりの推進
総合評価	A	継続・見直し	事業実施課(室)名	食品安全・衛生課	評価者	食品安全・衛生課長 佐伯 久

[1. 現状・課題、目的]

現状・課題	ライフスタイルの変化等により、栄養バランスの偏り、孤食や個食の増加などの食習慣の乱れ、基本的な食事マナーの低下、食を大切にする気持ちの希薄化など食を巡る様々な問題の解決が課題となっている。	事業の目的	多様化している「食育」について、わかりやすい具体的な取組みを県民に提唱することにより、「食」のもっている大切さを理解し、健全な食生活を実現できるようにする。
-------	--	-------	--

[2. 事業内容と今後の課題]

(単位：千円)

活動名	活動内容	効率化の取組状況	コスト	25年度	26年度	27(予算)
食育人材バンクの運営	様々な分野で活躍する食育の実践者・団体を登録し、県民の求めに応じて派遣(53個人・24団体 個人枠80回・団体枠12回派遣) 地域における食育活動及び市町村食育推進計画推進を支援 県民意見の聴取、施策反映のため食育推進会議等の(H26 2回/年)の開催 街頭やイベントでの普及啓発の実施(H26 1回/年)	・市町村の食育イベントと同時開催(20年度～)	総コスト	22,853	23,366	18,595
地域食育推進連絡協議会			事業費	2,853	2,866	8,939
			(うち一般財源)	2,853	2,866	8,939
食育専門部会と食育推進会議の運営			人件費	20,000	20,000	15,000
食育の普及啓発			職員数(人)	2.00	2.00	1.50

活動指標	指標名(単位)	達成度	25年度	26年度	27年度	最終達成(年度)	評価	今後の課題	
								目標値	実績値
活動指標	「食育人材バンク」登録者の派遣回数(回/年)	目標値	85	85	85		a	・多様化する食育を県民運動として実施できるようわかりやすく具体的な取組を提唱 ・食育人材バンクの講師となりうる食育の実践者・団体の新たな発掘	
		実績値	93	92					
		達成率	109.4%	108.2%					
	食育専門部会の開催回数(回/年)	目標値	2	2	2				
		実績値	2	2					
		達成率	100.0%	100.0%					

[3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	25年度	26年度	27年度	最終達成(年度)	評価	事業の成果	
								目標値	実績値
成果指標	朝食を毎日食べるようにしている児童・生徒の割合(小5)(%)	目標値	97.0	97.5	98.0		a	グリーンツーリズム活動者に対する食育研修会により、旬の食材の良さや地域の食文化の継承、食事マナー等について伝達するノウハウが周知できた。	
		実績値	91.4	90.0					
		達成率	94.2%	92.3%					

[4. 今後の方向性等]

今後の方向性	終了	継続・見直し	例外的に継続	廃止
--------	----	---------------	--------	----

今後の事業方針

- ・多様化している「食育」について、自分で料理を作る“おおいた食の日”などのわかりやすい具体的な取組を県民に提唱し、食育を家庭・学校・地域で連携した県民運動として推進
- ・親元を離れても健全な食生活が実践できるよう高校生を対象にした食育の推進
- ・食育人材バンクの活用を促し、食を選択する力や、調理ができる力を付けさせる体験型講習会を地域の要望に応じて開催し、地域密着型の食育を推進

事業名	青・壮年期食育推進事業		事業期間	平成 25 年度～平成 27 年度		政策区分	安全・安心な暮らしの確立
						施策区分	食育を通じた人づくり・地域づくりの推進
総合評価	A	継続・見直し	事業実施課(室)名	食品安全・衛生課		評価者	食品安全・衛生課長 佐伯 久

[1. 現状・課題、目的]

現状・課題	青・壮年期は食生活の乱れや運動不足、ストレスの増大から、年齢とともに生活習慣病などの健康問題が現れ始める時期であるが、働き盛りのこの世代への食育の推進が手薄な状態である。	事業の目的	青・壮年期の食生活の改善を図る。
-------	---	-------	------------------

[2. 事業内容と今後の課題]

(単位：千円)

活動名	活動内容	効率化の取組状況	コスト	25年度	26年度	27(予算)
社員食堂を活用した食育事業	事業所に食育コーディネーターを派遣し、社員食等ツールとした食育事業を実施 事業所：ダイハツ九州株式会社、株式会社大分放送 内容：毎月の献立会議、食育イベント、アンケート一般食堂等への講習会（県内12カ所、392名） 大学生等への食育事業 大学に講師を派遣し食育セミナーを実施 食育セミナー（看護大、工科短大）(2回/年) 食育ワークショップ（APU APハウス）(1回/年)	・食品衛生協会の開催する講習会を活用	総コスト	12,447	11,144	11,538
			事業費	2,447	1,144	1,538
			(うち一般財源)	2,447	1,144	1,538
			人件費	10,000	10,000	10,000
			職員数(人)	1.00	1.00	1.00

活動指標	指標名(単位)	達成度	25年度	26年度	27年度	最終達成(27年度)	評価	今後の課題	
								社員食堂を活用した食育事業への実施協力企業数	目標値
	実績値	1	2						
	達成率	100.0%	100.0%						
大学生への食育セミナー実施学校数	目標値		2	3	3				
	実績値		2						
	達成率		100.0%						

[3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	25年度	26年度	27年度	最終達成(27年度)	評価	事業の成果	
								食育に取り組んでいる団体・企業等数(団体・企業)	目標値
	実績値	77	92						
	達成率	106.9%	127.8%						

[4. 今後の方向性等]

今後の方向性	終了	継続・見直し	例外的に継続	廃止
--------	----	---------------	--------	----

今後の事業方針

- ・25年度モデル事業所と県内4事業所の社員食堂で得られた有効な手法を取りまとめ、社員食堂を持つ事業所の支援を行うとともに、一般食堂や弁当屋等へは継続して講習会にて取組を周知
- ・大学生等を対象にした食育セミナーを開催して学生の意識改革を行い、学生食育リーダーによるワークショップの開催や、自分で作る「弁当の日」を開催することで自炊力を身につけた学生を育成